

世界展開力強化事業 長期留学 第2回報告書

ブラジル連邦共和国 サンパウロ大学 (ESALQ-USP)
農学部バイオセラピー学科植物共生学研究室 松崎永志

●はじめに

ブラジルで留学生生活を始めてから早くも4ヶ月が経つ。誰にでも優しいブラジル人の人柄と美味しいブラジル料理のおかげでこちらの生活にもかなり慣れ、今ではすっかりブラジルに魅了されている。今日まで、前回の報告書作成時に掲げた目標である「学び」を意識しながら充実した日々を送ることができた。この4ヶ月間お世話になった多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、さらに充実した日々を送れるよう邁進していきたい。また、今月8月より新たな学期がスタートした。今学期は農学関連の講義をいくつか履修する。しかし全ての講義はポルトガル語で行われるため、予習や復習が非常に重要となる。今までの「学び」に加えて「積極性」をも意識し、さらに勉学に励んでいきたい。

●主な出来事

周りの方々の協力もあり様々な経験ができた。その中でも主な出来事について、時系列に述べていきたい。

【研究室での植生調査】

前回の報告書で紹介した薬用植物の研究室で活動を始めてから1ヶ月程経った休日、教授と学生3人と共に植生調査へ向かった。セハードと呼ばれるブラジル特有の乾燥地帯では、日本には自生していない多くの植物種を観察することができる。その中には昔から薬用として使用されている種も数多くあった。今後ブラジルの薬用植物を勉強していく上で必要な知識の基礎をしっかりと学ぶことができた。

【有名クラブチーム「コリンチャンス」のサッカー観戦】

お世話になっている日系人の岸さんにお誘いいただき、サッカーの本場ブラジルで初めて試合を観戦した。コリンチャンスはサンパウロの歴史ある強豪チームで、熱狂的なサポーターの応援が有名だ。この日も試合前から発煙筒が燃え上がる等、いかにもブラジルらしい雰囲気であった。ブラジルのサッカー文化を知る貴重な機会となった。

【BIO BRAZIL FAIR 見学】

サンパウロ市内の会場で開催されたこのイベントは、有機農産物や健康食品を扱う企業が一堂に集結するとても大きなイベントである。広い会場内にはブラジルだけではなく海外の企業や団体のブースも並び、多くの人々で溢れ返っていた。各ブースでは、ハチミツプロポリスや有機野菜を利用したジュース、成分にこだわった菓子等の試食・試飲を楽しみながら、商品の解説を聞くことができる。商品の想像以上の質の高さと種類の豊富さ、そしてブラジル人の健康食品への関心の高さに驚きの一日であった。

【農大会館でのミーティング参加およびOBの方々への挨拶】

月に一度行われるミーティングがあると伺い、初めて農大会館を訪問した。ブラジルに移住して多方面で活躍されている大先輩方に挨拶した後、昔の農大やブラジルに関する様々なお話を聞かせていただいた。今後も継続して農大の活動に参加しく予定である。

【中南米の農業分野に精通した野澤様宅訪問】

朝からバスを乗り継ぎ、モジダスクルーゼス在住の野澤様宅へ伺った。野澤様は大学卒業後に中南米へ渡り農業分野でご活躍され、現在も中南米や日本で講演を行う等活動を継続されている。ブラジルの農業概要をはじめ、薬草、プロポリス、日系社会等についてお話を伺うことができ非常に勉強になった。

【ミニトマト農家前田様宅での研修】

農大校友会にご紹介いただき、ミニトマトを栽培している前田様のお宅にて約1週間研修させていただいた。広大な敷地に建てられたハウスで栽培しているミニトマトや野菜の種苗をじっくりと時間をかけて見学。栽培、土壌、品種、流通、市場等、農業に関する様々なお話を、農家と経営者の視点でご説明いただいた。また研修期間中には、サカタのタネのブラジル支社やHORTITECと呼ばれる南米最大規模の農業メーカーが集うイベントにも連れて行っていただいた。とても充実した研修となり、大変満足している。

【サンパウロ博物研究会見学】

サンパウロ博物研究会はサンパウロを中心に薬用植物を利用した活動を行なっている団体で、日本人や日系人の方々が運営されている。月に一度の集まりにご招待いただき、活動内容や薬草園を見学させていただいた。次回は8月下旬から開催される薬草のイベントのお手伝いをさせていただく予定である。

【ベレン・トメアスー訪問】

7月8日～15日にかけてブラジル北部のアマゾン地域にあるベレンとトメアスーを訪問した。主な目的は、薬草とアグロフォレストリーについての勉強である。ベレンでは多種多様な薬草が揃うヴェロペーズ市場、トメアスーでは農協や文協、10件程の農場を見学させていただき充実した日々を過ごすことができた。現地では佐藤様、大西様、鈴木様、坂口様はじめ、多くの農大関係者にお世話になった。やはり資料や報告書だけではなく実際に現地へ足を運び、自分の目で見て現地の方の話を聞くことはとても大切であると改めて実感した。

【ESALQ サマーコース参加】

7月25日～8月5日の2週間、ESALQで留学生向けに開講されたサマーコースに参加した。欧米やアジアを中心に約10ヶ国計24人の学生が出席し、講義はすべて英語で行われた。ブラジルの農業について様々な分野の先生方が説明して下さった他、有名な農薬会社やエタノール生産現場、植物園等も実際に見学でき、ブラジルの大規模な農業関連施設に圧倒された2週間であった。また学生同士の仲も非常に良く、最終日には全員でバーへ行き、オリンピックの開会式を見ながら各国の文化やスポーツ等の話題で盛り上がった。今後も多くの学生と交流する機会を積極的に増やしていきたい。

【農大ブラジル校友会慰霊祭】

年に一度サンパウロで行われる農大ブラジル校友会慰霊祭。当日は農大関係者 50 人以上が集まり、大勢の人で賑わっていた。農大の大先輩方がブラジルで築き上げてきた歴史がどれだけ偉大なものであったか改めて気づかされた。このような歴史をぜひ日本の講義等でも取り上げて欲しい。

【Poko-Loco シュハスコ】

現在暮らしているヘプブリカ Poko-Loco のシュハスコが開催された。Poko-Loco では代々日系人が暮らしていたので当日は多くの日系人の OB の方々がいらっしゃり、昔の ESALQ の話題や現在働かれている農業関連メーカーでの仕事等についてお話を伺うことができた。将来は海外に展開する日系の農業メーカーで働きたいと考えているため、今後仕事の選択肢を考えていく上で非常に役立つであろう。

●写真

(写真 1)植生調査



(写真 2)サッカー試合観戦



(写真 3)BIO BRAZIL FAIR



(写真 4)ミニトマト農家前田様宅にて



(写真 5)サカタのタネブラジル



(写真 6)農業イベント HORTITEC



(写真 7)トメアスー・文協にて鈴木様と



(写真 8)ベレン・ヴェロペーズ市場にて



(写真 9)ESALQ サマーコース



(写真 10)農大ブラジル校友会慰霊祭

